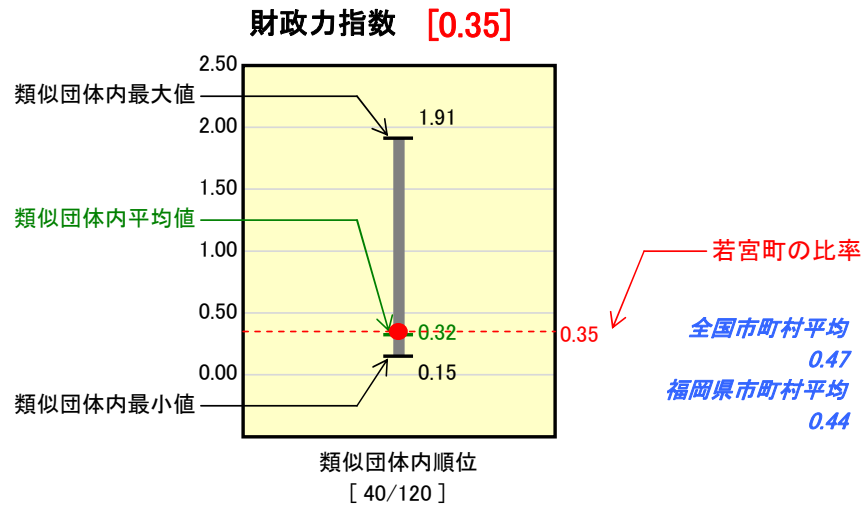


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

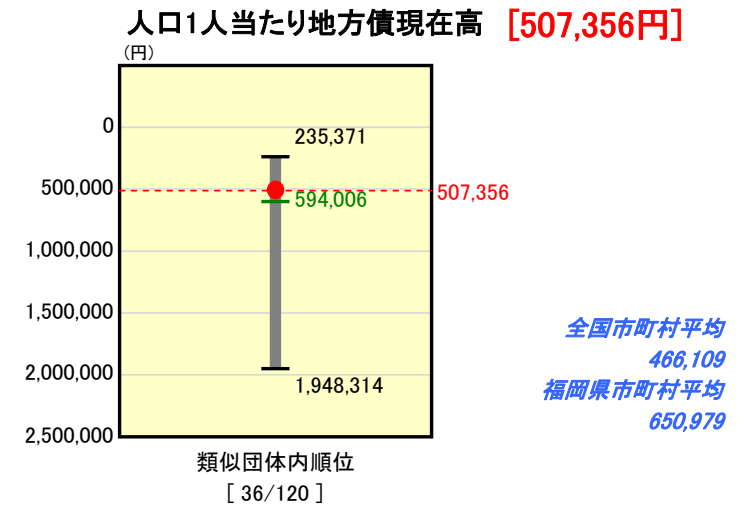
福岡県 若宮町

人口	10,055 人(H17.3.31現在)
面積	87.50 km ²
歳入総額	4,788,955 千円
歳出総額	4,693,260 千円
実質収支	74,870 千円

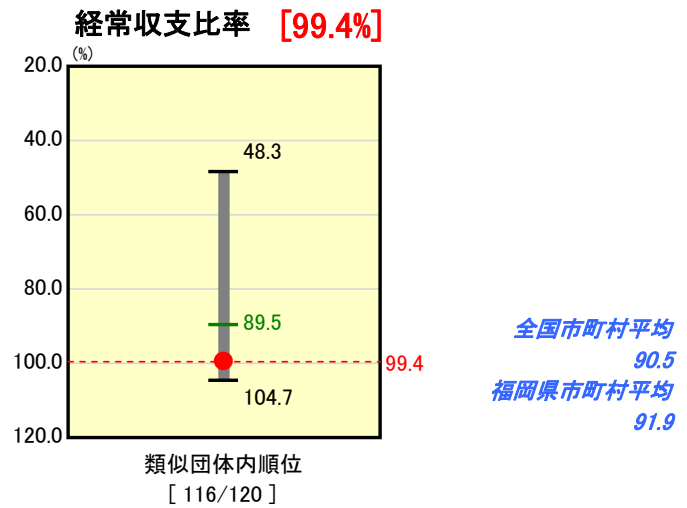
財政力



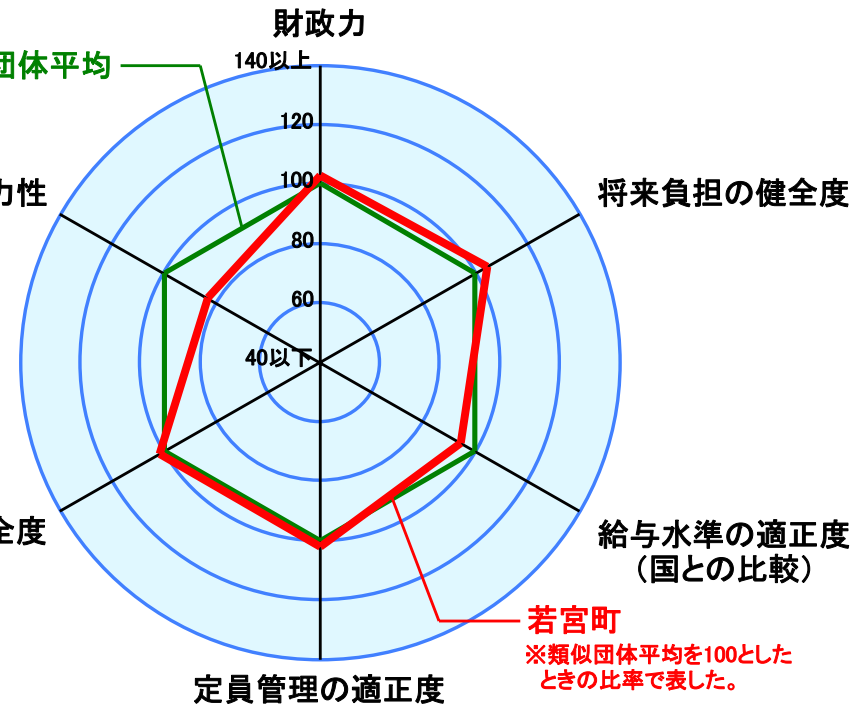
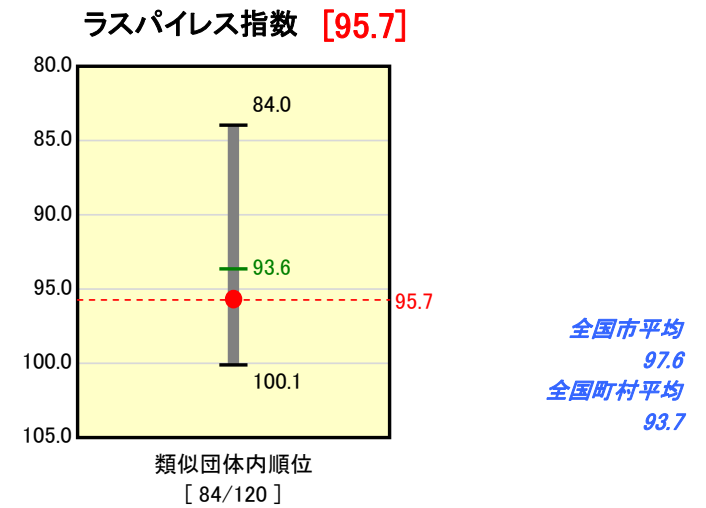
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

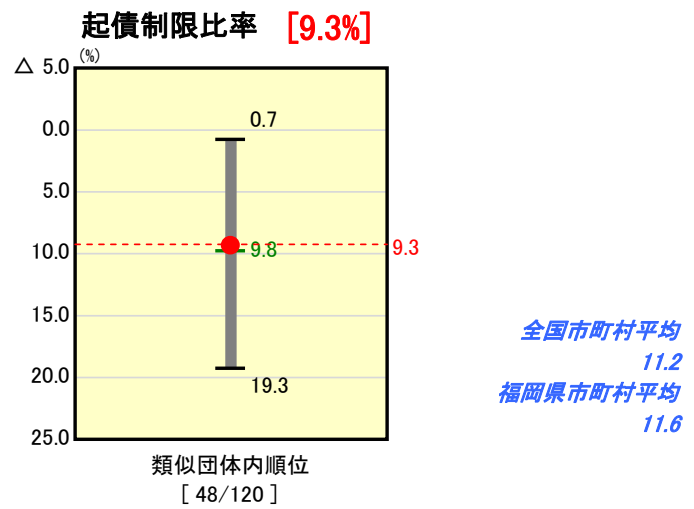


給与水準の適正度(国との比較)

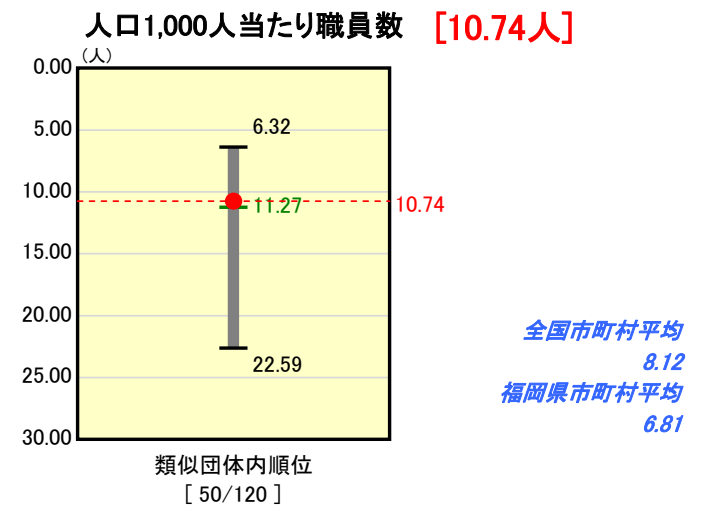


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
ここ3年間ほぼ横ばいで0.35となっている。隣の自動車産業の増産体制による本町への関連企業の進出により町税増収を期待しているが、更なる歳入確保と歳出削減に努める。

○経常収支比率
地方交付税、各種交付金に依存した財政運営のため、経常一般財源収入である普通交付税と臨時財政対策債の大幅な減(△203百万円)により、対前年度比7.0%ポイント上昇と影響が顕著に表れる。このため、一般財源の要である町税の確保とともに経常経費の削減に努める。

○起債制限比率
投資事業の抑制により年々低下し9.3%と類似団体平均を若干下回っている。引き続き適正、適量事業を選択実施し水準を抑えていく。

○人口一人当たり地方債現在高
地域改善対策特定事業債、公共事業等臨時特例債償還終了、事業が少なかったことにより類似団体平均を下回っている。今後も極力新規地方債の発行の抑制に努める。

○ラスパイレス指数
平成14年5月に定員適正化計画の見直しを行い計画に基づいて定員の適正化を図り、人件費の抑制化を図ってきた。その結果ラスパイレス指数は、平成14年度97.2、平成15年度96.9、平成16年度94.9となっているが、平成17年度95.7と0.8ポイントの上昇となった。定員を抑制している状況の中でのこの原因は、主に年齢構成の変動に伴うものである。今後は定年退職を中心とする自然減を原因とした総人件費の減少が考えられる。

○人口1,000人当たり職員数
農業と観光の町である当町では、昭和40年代から50年代にかけて基盤整備等の事業を行い農業基盤の確立を図ってきた。このため職員採用を行ったことにより、職員数が類似団体平均より若干多い状況であったが、平成14年5月に定員適正化計画を見直し、一般行政職ベースで平成14年度に9名、平成15年度に2名、平成16年度に1名の退職者が発生した。今後は発生する定年退職者と新規採用のバランスを考慮し総職員数の抑制化を図る。